

平成 18 年度陸域環境研究センター施設利用状況

(平成 19 年 3 月 31 日現在)

	教育関係	研究関係		
学群	地形プロセス学・同実験(自然学類)	25 名× 14 回	卒業研究利用者	
	気候学・気象学実験(自然学類)	30 名× 7 回	自然学類	4 名
	水文学実験(自然学類)	30 名× 4 回	その他	2 名
	〃	32 名× 2 回		
	計測工学実験(生物資源学類)	25 名× 1 回		
	水理学実験(生物資源学類)	12 名× 5 回		
	地球科学実験 3 体験学習	30 名× 2 回 47 名× 1 回		
	936 名	合計(延)数	6 名	
大学院	地域調査法	10 名× 9 回	生命環境科学研究科	10 名
			環境科学研究科	3 名
	合計(延)数	90 名	合計(延)数	13 名
教職員	学生の指導	59 名	陸域環境研究センター	9 名
			生命環境科学研究科	8 名
			人間総合科学研究科	1 名
	合計(延)数	59 名	合計(延)数	18 名
他大学等	JICA 研修	2 名× 4 回	千葉大学環境リモートセンシング研究センター	1 名
			名古屋大学地球水循環研究センター	1 名
			千葉大学自然科学研究科	1 名
			国立科学博物館	1 名
			英弘精機(株)	1 名
			エン・テク(株)	1 名
	合計(延)数	8 名	合計(延)数	6 名
その他	研究会・年次報告会	4 回 参加者	154 名	
	セミナー	6 回 参加者	146 名	
	ワークショップ	1 回 参加者	78 名(国内)	
	機器の利用		8 名	
	データの利用		11 名	
	見学者			
	国内		842 名	
国外		0 名		
	利用者合計		2375 名	

主 な 行 事

年 月 日	記 事
2006. 4. 18	群馬県立中央高校見学（40名）
2006. 4. 22	科学技術週間・センターの一般公開
2006. 5.9~10	（株）エン・テクとの共同研究
2006. 5. 26	茨城県立竹園高校見学（24名）
2006. 6. 6	山形県立米沢中央高校見学（50名）
2006. 6. 16	八反地剛準研究員地球環境科学専攻講師に転任
2006. 7. 16	青木久準研究員着任
2006. 7. 18	平成 18 年度第 1 回陸域環境研究センター運営委員会
2006. 7. 22	圃場整備（草刈）
2006. 7. 26	筑波大学説明会（226名）
2006. 7	「陸域環境研究センター報告第 7 号別冊」発行
2006. 8. 4	自然学類体験学習（46名）
2006. 8. 7	埼玉県立越谷北高校（42名）
2006. 8. 20	つくば宇宙少年団（35名）
2006. 8. 28	立正大学地球環境科学部見学（10名）
2006. 8. 29	神奈川県立生田高校見学（14名）
2006. 9. 11	千葉大学理学部・大学院自然科学研究科見学（7名）
2006. 9.22~29	工作室・水路実験棟の解体工事
2006. 10.16~17	国際ワークショップ開催（陸域環境研究センター共催：中国科学院農業資源研究センターにおいて）
2006. 10. 17	栃木県立石橋高校（60名）
2006. 10. 18	鳥取県立鳥取東高校（6名）
2006. 10. 26	群馬県明和県央高校（60名）
2006. 11	工作室・水路実験棟の改修工事開始
2006. 11	「陸域環境研究センター報告第 7 号」発行
2006. 11. 10	群馬県立桐生高校見学（40名）
2006. 11. 22	圃場整備（草刈）
2006. 11. 24	茨城県立緑岡高校見学（40名）
2006. 12. 5	工作室・水路実験棟の改修工事完了
2006. 12. 5	長崎県立長崎西高校見学（42名）
2006. 12. 6	長崎県立長崎西高校見学（42名）
2006. 12. 8	牛久市立牛久第二小学校見学（63名）
2007. 1.25~26	陸域環境研究センター国内ワークショップ開催
2007. 3. 2	平成 18 年度陸域環境研究センター年次研究報告会
2007. 3. 26	平成 18 年度第 2 回陸域環境研究センター運営委員会

陸域環境研究センター 熱収支・水収支観測資料について

下記の表は学内外の利用希望者に対する利用できるデータの種類、収録期間、メディアの種類、利用方法を示す。利用希望者は、データ利用申請書 (http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/TERC/use_application.html) を記入の上、センター宛提出されたい。

データの種類	収録期間	メディア	利用方法
1時間ごとの全測定項目および、日平均値（または日積算値）・日最小値・日最大値が入った月ごとのアスキーファイル	1981年/11月～ 現在	陸域環境研究センターのホームページ	陸域環境研究センターのホームページ (http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/) の TERC 熱収支・水収支観測データベース (http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/TERC/database.html) にアクセスする。 ●月ごとのデータは、(http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/monthly/) に保存されており、ファイル名のつけ方は次の通りである。Dyy-mm.DAT, yyは年, mmは月を表している。例えば、2002年4月のデータは、D02-04.DATである。 ●年ごとに圧縮されたデータは、(http://hojyo.suiri.tsukuba.ac.jp/hojyo/archives/yearly/) に保存されている。圧縮形式はlzh形式またはtar + gzip形式である。
上記データのプリントアウト	1983年/7月～ 2003年/3月	冊子体 (3枚/1日) 一冊/3ヶ月	コピーをとるか (*), 写し取り, 利用する。または貸し出しを行うので (一週間まで) 持ち帰って利用する。
測定項目ごとの1時間ごとのプリントアウト	1989年/1月～ 利用時の1-2年前	冊子体 1枚/1月	同上
各項目の日平均値のプリントアウト	1989年/1月～ 利用時の1-2年前	冊子体 (センター報告) 1ページ/1年	同上
各項目のアナログ出力を記録したチャート	1980年/1月～ 2003年/3月	チャート 一冊/1月	コピーをとるか (*) センター内で読み取る。

(*) センターのコピー機を使う場合、学生用コピーカードを使用し、何枚使用したかを記録用ノートに記入する (教職員の場合は本人あてに、学生の場合は指導教員あてに利用額が後ほどセンターから請求される)。

筑波大学陸域環境研究センター出版物の 著作権について

1. 筑波大学陸域環境研究センター報告等に掲載されたすべての報文等（以下、報文等と称する）の著作権は筑波大学陸域環境研究センター（以下、本センターと称する）に帰属する。
2. 本センターの出版物に掲載された報文等の全部あるいは一部を他の出版物に転載、翻訳、あるいはその他のために利用する場合には、本センターに文書による利用許諾を得た上で、出所明示して利用しなければならない。
3. ただし、学説の展開、および教育目的の著作の中で、本センターの出版物に掲載された報文等の一部を出所明示の上で引用する場合には、前項にかかわらず利用許諾の申請は不要とする。

1993年以前の「水理実験センター報告」掲載記事の 著作権委譲のお礼

陸域環境研究センター報告第7号（p146）やホームページを通じて、1993年以前の「水理実験センター報告」掲載記事のすべての著者に対し、当該記事の著作権をセンターに委譲されるようお願いしておりました（2007年2月末日締切）が、電子化・ウェブ公開を希望されない記事について、お知らせ頂いたものを除いて、著作権委譲をご許可いただけたものとして、2007年3月よりセンターホームページにてウェブ公開（<http://www.suiri.tsukuba.ac.jp/TERC/publication/ercbull.html>）を行っております。

皆様にご理解とご協力をいただきましたことを、この場をお借りして御礼申し上げますと共に、皆様の研究の一助としてお役立ていただければ幸いです。

連絡先：筑波大学陸域環境研究センター事務室

電話：029-853-2532

FAX：029-853-2530

e-mail：jimu@suiri.tsukuba.ac.jp